

真珠子の草枕

写し絵創作舞台



熊本で誕生した夏目漱石「草枕」の世界を、国内外で活躍を続ける天草出身のアーティスト「真珠子」が新しいアプローチで表現します。世界的にもアニメーションの元祖とも言われ、夏目漱石の小説にも登場する幻燈機の技術を再現し、朗読と日本舞踊、オリジナルの音楽で構成。子どもから大人まで楽しめる現代アートと日本舞踊が融合する創作舞台です。

出演 真珠子（総合演出） 高濱流光華々（舞踊家）

今藤珠美（作曲、三味線）／下田れい子（箏）／望月晴美（鼓）
藤舎理生（笛）／吉田敬（サウンドクリエイター）

開催日時 2021年12月11日(土)13:00開場 14:00開演

2021年12月12日(日)13:00開場 14:00開演

※12日(日)午前中には幻燈機作りのワークショップを開催予定

開催場所 早川倉庫（熊本市中央区万町2丁目4）

入場料 大人 三千元 中学生以下 千円（チケット発売中）



真珠子の草枕
特設WEBサイト

真珠子

天草市出身。画家（主に日本の書道がルーツ）、イラストレーター、映像作家、インスタレーション作家。天草陶石をつかった陶芸作品も発表。「真珠子学園」を設立し、様々なワークショップを展開。2017年文化庁海外メディア芸術祭@ウィーンで日本代表としてパフォーマンス。



高濱流光華々

（社）日本舞踊協会会員、熊本県日本舞踊協会副理事長、熊本県文化協会世話人。高濱流の特徴である江戸前の素踊をはじめ、粋な芸者や歌舞伎舞踊まで幅広い芸域をみせる。公式行事に出演するほか、柔らかな感性で他ジャンルとの創作舞台にも積極的にチャレンジしている。

